

6/26  
新田由生義の現場から

# 新田由生義の現場から 「ハローへーく」

平和な暮らしをめざすのかが問われる参院選開始直後の23日、東京都台東区のハローワーク上野前で、仕事を探す人たちと、いじめのやうな政治への恩恵を聞きました。

(新井水和、井上拓大、武田祐一)

## ハローへーく前

小爾が時折降る梅雨空の下、ハローワークには職を求める人がぱつりぱつりと訪れています。

「ハローワークのため退職しました」というのは50代の男性。職場では男性を含む多くの人が非正規雇用でした。

正規で就職したいのですが、その後はほとんどが非正規。「一度、正社員をやめると、なかなか正社員で雇ってもらえない」と嘆きます。

理想の手取りは20万円

／＼食費を切り詰めています。「肝臓病があって、大した額ではないけれど医療費や薬代の負担も重く感じます」

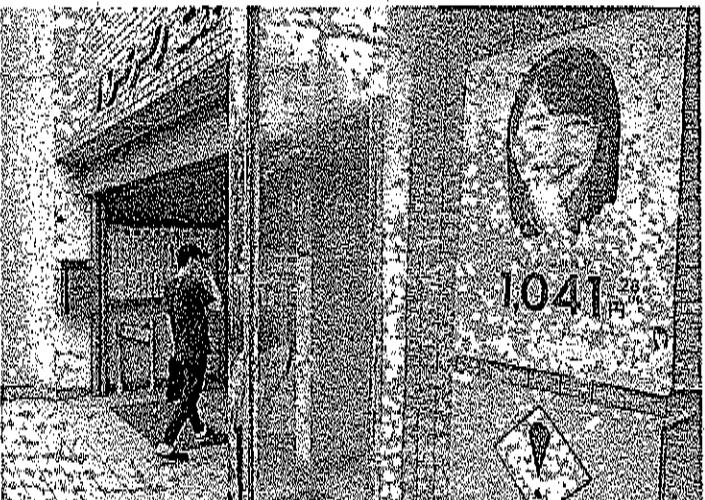
政府に求めたいとは「減税。一番大切な生き方を考えてほしい」と訴えます。

給与15万程度

医療事務の仕事を希望して訪れたのは東京都中央区に住む女性(23)。

専門学校を卒業後、病院で3年間、医療事務に從事しました。夜勤を求

# 減税 少しでも



最低賃金をチェックすることを呼びかけるポスターが張られたハローワークの玄関=23日、東京都台東区

### 用途を明確に

台東区に住む女性(61)は、勤務先の午前の時、午後の時という勤務体制が体力的に苦しく、転職を考えています。「現在の会社では、65歳まで1年契約で働いたことができます。でも、もう体力的にしづらくなりました。スーパーのパートの仕事を興味があります」

会議や院内セミナーに参加が多かった後、「仕事が終った後の労働者の男性」コピー機をレンタルする会社の会員は、「手当がないことがあります」とあります。女性は「税金の使い道を国際化・明確にして、社会や政治をよくするために使ってきた」と指摘します。「税金は、失業者や女性は「収入が多い方ではありませんので、本当に苦しんでいます。消費税をひいてはならないのです。消費税をひいてはいけない」と嘆きます。

医療事務の仕事を希望して訪れたのは東京都中央区に住む女性(23)。

専門学校を卒業後、病院で3年間、医療事務に從事しました。夜勤を求めるあまり、個人的で半ば仕事でできないため、退職せざるを得ませんでした。物価高の影響も大き

## 非正規で不安定 ■ 医療費重く